

こんにちは 議会です!!



真冬の飯盛木



堀江 真彦 氏 提供

- 12月定例会 2
- 予算特別委員会 3
- 総務常任委員会 4
- 産業建設常任委員会 5
- 意見交換会 6
- 広報常任委員会 7
- 町政を問う(9人が一般質問) 8
- 第63回 町議会議員研修会 ...13
- 地域おこし協力隊14

12月定例会

12/2
12/20

第5回臨時会

11/30

条例改正11件、補正予算3件、請願1件を審議した。

条例改正

① 地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、「多賀町条例等の一部を改正する条例」

⑤ 「多賀町職員の懲戒の手続および効果に関する条例の一部を改正する条例」

⑩ 「多賀町職員の再任用に関する条例を廃止する条例」

③ 「多賀町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例」

⑨ 「多賀町人事行政の運営等の状況に関する条例の一部を改正する条例」

① 「消費税インボイス制度実施の中止を求める」との意見書の提出を求める請願書

請願

条例改正2件、請負契約1件を審議した。

① 「(仮称) 結いの森公園整備工事」の請負契約の締結

条例改正

① 「多賀町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」

入札結果
● 4年11月9日実施
● 入札業者9社

補正予算

② 「多賀町消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例」

⑥ 「多賀町企業職員の給与の種類および基準に関する条例の一部を改正する条例」

① 4年度多賀町一般会計補正予算(第7号)

賛成 大橋・山口・川添 竹内・木下
反対 富永・菅森・川岸 近藤・清水 神細工

⑦ 「多賀町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例」

⑦ 「多賀町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例」

② 4年度多賀町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

採決結果 賛成少数否決

⑧ 「多賀町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例」

⑧ 「多賀町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例」

③ 4年度多賀町水道事業会計補正予算(第1号)

採決結果 可決

可決

● 遊具含まず
● 植樹含まず
工期
● 5年3月31日まで

予算特別委員会

12/8

歳入・歳出 総額 1億2256万円

歳入 おもな予算項目 (万円)	歳出 おもな予算項目 (万円)
ふるさと納税増加額 4500	ふるさと納税業務委託料、返礼品の追加額 2315
前年度繰越金 4892	滋賀県議会議員選挙費 391
過年度収入 755	彦根愛知犬上広域行政組合負担金 97
	里山防災治山工事 102
	燃料・光熱水費 1043
	電算構築委託料 242
	間伐材有効活用事業補助金 58
	公有財産購入費(清流の里駐車場) 40
	住基のコンビニ交付増加額 53
	がんばる商店応援補助金 40
	GIGAスクール運営支援負担金(小・中) 95
	消防ポンプ操作方法大会参加費 105
	障害者自立支援介護給付費 1360
	認定子ども園排煙装備点検費 60
	児童福祉総務費児童手当 471
	まちづくり基金への積立 4500

歳入 おもな予算項目 (万円)	金額
ふるさと納税増加額	4500
前年度繰越金	4892
過年度収入	755

(施設別 内訳)

燃料・光熱水費明細 (万円)	金額
保育所費	130
認定子ども園費	50
子育て支援対策費	12
総合福祉保健センター費	97
小学校管理費	223
中学校管理費	136
幼稚園費	19
公民館費(結いの森)	52
勤労者体育センター費	7
あけぼのパーク多賀管理費	317

燃料・光熱水費の予算増加額について

ロシアのウクライナ侵攻を始めとして、高騰している燃料価格、諸外国の物価高騰と大幅な円安の相乗によって、燃料・光熱水費も上昇しています。

各施設では、燃料・光熱水費が上昇しており、補正予算が必要となりました。今後の動向によっては一層の費用増加も見込まれますが、現段階は、左上表の補正額となります。

5年4月に実施予定の滋賀県議会議員選挙の費用について

今年度中に準備すべきポスター掲示設置委託料、通信運搬費、印刷製本費、準備費、委員報酬・職員手当等の事前費用が必要となります。

ふるさと納税の現状について

全国から多賀町へのふるさと納税額は11月末現在で2057件4220万円となりました。前年同月比では件数で1585件増加、金額では3213万円の増加となっています。

今年度末時点で寄附額が4500万円プラスとなる見込です。納税額の増加に伴い、業務委託費、返礼品費も増加となります。なお、返礼品は、キリン製品、米、ベストネ製品等があります。

SL公園跡地について

SL公園のSL機関車は、4年9月に愛知県豊田市の石川氏に無償譲渡され搬出された。賃貸契約に基づき当初の状況に戻し返却する。

マイナンバー交付状況について

11月末現在で発行枚数は3791枚、交付率は52.9%となっています。交付申請は、3月末まで第二日曜日に庁舎で開催する。



ふるさと納税返礼品

総務常任委員会

12/9

請願1件を審査

「消費税インボイス制度実施の中止を求め」の意見書の提出を求める請願書

請願者

彦根民主商工会
代表者会長 永田 英紀

業・自営業者の経営危機が深まっており、事務負担増と増税になるインボイス制度に対応できる状況ではない。地域で根差して活動する中小業者の存在が不可欠で「税制で商売をつぶすな」の願いを込め、請願する。

審査内容

5年10月からインボイス制度（適格請求書等保存方式）が実施されようとしている。現在免税事業者の小規模農家やフリーランス・シルバー人材センターで働く高齢者にとっても、消費税の納税義務が生じる。免税店制度を実質的に廃止するものである。コロナ禍で食料品・輸入原材料高騰、地域経済が疲弊する中で、中小企

消費税とは別問題と思う。消費税と別問題と。小規模農家など個人で生活に影響はないと思う。ベンチャー・フリーランスも育たないと言われるがその税制の中で育ってきている。低所得者も苦しい中払っている。納税しないのは税の公平性に欠ける。請願の判断基準として、妥当であるか。実現の可能性はあるか。町村の権限・議会の権限事項に属する事項であるか。

採決の結果 不採択

賛成 松居 富永 川岸 神細工
反対

閉会中の調査

11/8

総務課所管

財政状況は

資産状況、起債の現状、基金、防災組織と体制について、京都市みやこ税理士法人より公会計制度について2年度一般会計決算を参考に財務指標分析結果の説明を受けた。

固定負債

55億7382万円

流動負債

6億2896万円

純資産は

111億7638万円

純資産比率65%

1人当たり

240万円

全国平均 401万円

負債額1人当たり

86万円

行政コスト

50億8652万円

1人当たり行政コスト

70万円

総括として

健全財政との説明

学校施設・庁舎などの老朽化。

地方債残高の圧縮などの提言があった。

総資産は

173億7916万円

固定資産（建物・土地）

159億5500万円

流動資産（預金）

14億2345万円

起債負債

62億 278万円

現状は

・財産（土地建物）

3年度増加分

都市公園・久徳こども園

尼子開発・第2学童

・地方債

51億7420万円

・基金

12億6261万円

防災組織と体制について

犬上3町彦根市消防本部

に委託し相互応援

・常備消防

消防団 56人

町内災害発生時自警団

自警団 33団体

婦人消防 3隊

・消防委託料

4年1億4778万円見込み。

・消防団員の確保が課題である。

産業建設常任委員会（閉会中の調査）

11/7

企画課

地域おこし協力隊の活動、「NPO法人おたき里づくりネットワーク」の活動

4年11月1日より、新たに地域おこし協力隊1名を委嘱。

氏名 岩下 晃士さん
転入 八重葎区内の シェアハウス

活動内容

NPO法人おたき里づくりネットワークと協働で地域の活性化に取り組む。
（飲食店での勤務、海外生活での経験を活かし、ひとの集う場所づくりに貢献したい。）

将来的にはパン屋を開業後、定住し、引き続き地域の活性化に貢献したいと委嘱時に抱負を述べられていました。

① 活動の拠点は

地域における居場所づくりの取り組みとして、大滝神社旧宮司宅を拠点に「おたき・ものづくりラボ」を8月から月1回開催。

また、大滝神社に自動販売機を設置し、地域に所縁のあるものの販売を予定している。

情報発信では「里づくり通信・おたき里づくりネットワーク通信」の発行、SNSを活用して取り組む。

② 旧営林署を拠点とした活動は

当面は、「おたき給食弁当」、「子どもの居場所づくり」の各事業に地域おこし協力隊が専念できるように環境整備を終えた。

③ 活動実績は

5月から現在まで12回、毎回100食程度の給食弁当を販売している。また、コミュニティカフェの開設をめざし住環境の改修を終え、当委員会も旧営林署の改修箇所、厨房設備の整備状況の視察の後、大滝林業研修センターにて、地域おこし協力隊の朝比奈遥さんと、岩下晃士さんと共に、今後の活動などについて意見交換をおこなった。

3年度環境省から200万円の内、187万円を滋賀県立大学に委託し、約100万円で厨房の整備をおこなった。

4年度は環境省からの補助金200万円をNPO法人に委託し、ウッドデッキ、部屋の改修、屋根の葺き替えを計画している。

④ 補助金の使途は

3年度環境省から200万円の内、187万円を滋賀県立大学に委託し、約100万円で厨房の整備をおこなった。

4年度は環境省からの補助金200万円をNPO法人に委託し、ウッドデッキ、部屋の改修、屋根の葺き替えを計画している。



旧営林署の改修

入札・契約制度

工事費積算での設計額が、工事では130万円、設計等の委託業務では50万円を基準とし、この額を超える件は契約審査会での審議が必要となる。

審査会では契約方法、一般競争入札や指名競争入札（指名競争入札は5社以上の規定がある）の参加資格者の決定を諮る。原則、一般競争入札とし、応札者がなく、入

札が成立しない場合には、指名競争入札で再執行をおこなう場合もある。物品調達では、最初から指名競争入札する案件も出てきている。随意契約では、地方自治法施行令に定める基準以下の少額案件において見積もり合わせによる契約としている。競争入札に付された案件は、企画課において入札を執行する。

入札通知の方法は

各所属課での入札通知は郵便でおこない、企画課に付された競争入札はホームページ、電子入札でおこなっており、会場入札はおこなっていない。

開札は

開札前に入札執行者が予定価格と工事の場合は最低制限価格を定めるが、この価格は原則、開札日の朝に作成する。

企画課で執行した場合、ホームページで公表は各所属課で執行した場合は各所属課の窓口で公表することとなっている。契約は、落札通知決定の発出に合わせ、契約書約款などを合わせて送付。契約日は、落札決定通知の発出日より10日以内に締結。

議会の契約議決額は

工事では、5000万円以上、物品調達は700万円以上。

随意契約における見積り合わせは何社か

2社以上とする規定がある。

意見交換会①

多賀町更生保護女性会

7/20

7月20日午前10時から、役場3階第1委員会室において「多賀町更生保護女性会」の皆さんと、意見交換会を開催しました。

問 女性会の会員数は
答 会員は20名。

問 団体の活動内容は
答 保護司さんと協力の

もとで、これから更生していこうという若者、あるいはそちらの道へ行ったらあかんというストップの活動等々をしています。

問 要望の中に多賀福祉会館裏の都計道路の感応式信号の交差点で渡る時間が短い中、多くの児童が通学路として利用されている。子ども達が朝夕横断をしますが登下

校時の時間帯だけでも青信号の時間をもう少し長く調整していただけないか

答 議会の中でも子どもたちの通学の安全安心という中、事故を未然に防ぐためにも迅速な対応が必要と判断し、あきらめずに問題解決に向け努力したい。

問 情報の入手は
答 情報入手は保護司さんには情報が入ってきま

す。のちに観察対象の方を色々みておられ、ご指導や援助などをして、その対応の仕事をされていますが、私たちには、そういう情報は一切ありません。この地域全体を非行のない明るい町にしたいための活動をしています。

問 公開ケース研究会をもっているような意見交換会をされていると聞きますが

答 保護司さんの研修会に何回か一緒に研修をさせていただき、実際の事例ではなく滋賀県の更生保護女性会がある事例を設定して意見交換会をしています。

問 活動経費は満たされていますか

答 社会を明るくする運動の中から頂いています。また、犬上彦根地区ネットワーク協議会の中の休眠預金を利用して活動していましたが今年度で休眠預金の活動は終わります。以降はそれぞれの地域で継続して活動していくために、引き続き町からの援助で活動していきます。

意見交換会②

多賀町文化協会

8/23

8月23日午後1時30分から、役場3階第1委員会室において「多賀町文化協会」の皆さんと、意見交換会を開催しました。

問 加盟団体数は
答 毎年2〜3団体ずつ減少しており、現在27団体です。

問 大人の天文教室活動を中央公民館「多賀結いの森」で専門的知識の講座がされているが

答 月に10人前後の参加者で地元以外にも車でも来られています。

問 参加者からの感想は
答 天究館の大型反射望遠鏡ほど詳しくは見えないが、結構10cmの望遠鏡でもよく見えるし、やっぱり星空を見ていただく

と心が豊かになれることがあって、ぜひ多賀の方もたくさん来ていただければと思います。

問 オカリナの活動は
答 懐かしい童話や心に残る歌や演奏を中心に楽しんでるサークルです。地域への出前講座を中心に活動中です。

問 活動での悩み事は
答 コロナ禍で出前活動が出来ない事と新規会員が増えない点など。



意見交換会

問 多賀座の活動は
答 子どもを含めて大人60〜70才位の構成で幅広い範囲で活動させていた

だいていますが、コロナ禍で小学生も入る機会がなく今はゼロに近いです。

問 最近の活動は
答 50周年記念行事として全国森林後継者大会を結いの森で狂言師の山本豪一氏とコラボしながら6月に活動したのが最後です。

問 町民への啓蒙活動は
答 冊子「多賀の文化」を発行することで町民の皆さまにこういうサークルがある事を知っていただきたいです。

大会議室の音漏れを何とか改善し、防音のいい部屋に出来ないかという要望があった。

広報常任委員会

「4年度 第46回 町議会広報研修会」開催 テーマ「住民に読まれ、伝わり 議会の見える化へ」

11月18日竜王町で開催の「4年度 第46回町議会広報研修会」に参加し「議会広報サポーターの芳野政明氏の講演を受け、上記テーマを念頭に、日野町・竜王町・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町の6町から提出された広報のクリニックを受けた。

Part 1 「議会だより」発行の意義・目的

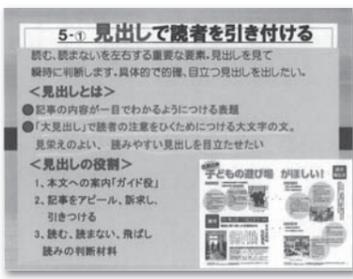
- ① 誰のため、何のための広報か
- ② 住民と議会との関係性を築く
- ③ 情報共有から参加・共同へ

Part 2 「議会広報の編集方針と企画」

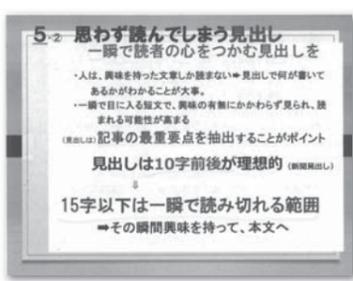
- ① 編集方針を確立、意図的広報活動を
- ② 製作工程のスケジュールの事前準備
- ③ 企画工程を検討↓素材集め↓編集作業↓校正作業↓印刷・配布
- ④ 編集方針、目標を持つて作成にあたる
- ⑤ 読まれ、親しまれ、役に立つ広報
- ⑥ 議事・議会活動を的確に伝える広報
- ⑦ 読みたくなる紙面づくり
- ⑧ *読まれない議会だよりに出す意味なし!
- ⑨ ④ 広報の4大企画+特集
- ⑩ 住民参加・民意反映の紙面づくり
- ⑪ 議案審議の可視化
- ⑫ 一般質問は代表質問・個人質問での監視・提案
- ⑬ 議会活動の記事、視察・調査、付託議案の審査・委員会報告

Part 3 「伝わる広報へ編集スキルアップ」

- ① 企画とページネーションを検討
- ② 読み進める違和感のないページの流れ
- ③ 同一グループが一目瞭然のレイアウト
- ④ 基本レイアウトを共通に
- ⑤ レイアウト3つの目標
- ⑥ 読みやすい
- ⑦ 分かりやすい
- ⑧ きれいな・好感
- ⑨ 写真の活用
- ⑩ 強く視線を誘導
- ⑪ 見る人に強い影響を与え、記憶に残る写真



Part 4 「住民に議会が伝わる企画編集」



- ① 見出しで読者を引き付ける
- ② 思わず読んでしまう見出し
- ③ 15字以下は一瞬で読み切れる範囲
- ④ 15字以下は一瞬で読み切れる範囲
- ⑤ その瞬間興味を持って、本文へ
- ⑥ ① 手に取りたくなる表紙
- ⑦ ② 住民登壇等の好調企画
- ⑧ ③ 定例会議案の議事公開
- ⑨ ④ 委員会レポート
- ⑩ ⑤ 一般質問
- ⑪ ⑥ 議会への関心を高める企画事例
- ⑫ ⑦ 地元住民が多く登場し、気持ちや意見・要望などを多く載せる
- ⑬ ⑧ 予算・決算は議会報告で最重要企画

議会広報クリニック

*4年度6月議会広報でクリニックを受けた

- ① 総評・特徴・改善点
- ② ① 定例会の議案審議とその報告、一般質問などの議事公開は良く行われています
- ③ ② 各ページの読みやすさは今一歩です
- ④ 見出しの立て方に改善の余地あり、写真や図表などの視覚要素が少なく、紙面に硬さがあります
- ⑤ レイアウトの基本や見出しの立て方に習熟を
- ⑥ ③ 議会から町民への情報提供とともに住民登壇企画などの広聴企画をもっと増やしては





山間地域の人口増加、移住対策は 課題解決と持続可能な町づくりをめざす

かみざいく むねひろ
神細工 宗宏

「内閣官房」が2020年に実施した調査や、「ふるさと回帰支援センター」が2021年に行った調査で、東京圏の若い世代の多くが地方暮らしに興味を持ち、地方移住はコロナ禍による一過性のブームではないことが推察される。次の5点を問う。

問 ① 調査結果を見て移住促進の今がチャンスだと思いませんか

② ソフト面と空き家と空き地の確保の問題は、同時進行であるべきだと思わないか

③ 「住める空き家」が、大滝地域で何件あるか

④ 6月時点で移住の相談が14件あり、その後の経過は

⑤ 行政は、山間地域がどのレベルになれば公費を投入するのか

企画課長
答 ① 移住促進の今がチャンスだと思っている。② ソフト面での魅力を基に、「住める空き家」の確保に努めたい。③ 大滝地域には、75戸の住める空き家が有るが、所有者の意向確認に至っていない。④ 本町の支援策や「空き家バンク」働き場所・就職支援は、県の「移住ポータルサイト」を紹介したが、その後の確認は取れていない。⑤ レベルで公費投入を行うものでなく、地域協力隊を2名に増員し、課題解決と持続可能な町づくりをめざす。



SL公園の跡地は 敏満寺区に返却

たけうち かおる
竹内 薫

昭和51年11月、SLパークがオープンしたが、時代の変化とともに衰退し、施設が閉鎖され長い間放置されていた。平成29年10月、愛知県豊田市在住の石川昭氏が訪問され、SL機関車を修復・保存し引き取りたいとの申し出により、今年9月に無償譲渡された。

問 ① 公園跡地は現状復旧後、敏満寺区への返却が基本と考えるが、復旧にかかる費用はいくらか

② 返却しない場合、なにか有効活用を考えは

企画課長
答 ① 現状復旧の後、敏満寺区への返却が基本で胡宮神社に返却。現在、県において国道307号の勾配修正、歩道整備などの道路整備計画がされており、今後数年を掛けて公園跡地周辺は大きく変わるものと判断する中、県とも調整が必要と考え現状復旧はしばらく時間をいただきたい。また、現状復旧費用については優に1000万円を超え埋設物次第でかなり高額になる。② 返却しない考えはない。有効活用についても国道306号の道路整備事業を考えると活用は難しい。



12月定例会

9人が一般質問 町政を問う

質問事項	ページ
■ 神細工 宗宏 9 ◎山間地域の人口増加、移住を受け入れる環境整備について ○山を整備する上での施策について	9
■ 竹内 薫 9 ◎SL公園の跡地について ○新型コロナウイルス感染症の第8波への対策について	9
■ 富永 勉 10 ◎学校給食費の無償化について ○国道307号沿いの盛土地の利活用について	10
■ 近藤 勇 10 ◎地域、民間で取り組まれる文化、芸術活動への支援制度の確立について	10
■ 山口 久男 11 ◎子育て支援のさらなる充実を求めることについて ○学校施設の整備について ○インボイス制度導入による町の対応について	11
■ 大橋 富造 11 ◎学校施設・設備整備について ○エコスクールの整備について ○学校施設の老朽化への対応と維持管理について	11
■ 木下 茂樹 12 ◎関ヶ原踏破隊歓迎の問題点は ○完全離村からの地域おこし補助は	12
■ 川添 武史 12 ◎町の財政状況について ○令和5年度の予算編成について	12
■ 清水 登久子 13 ◎災害時の避難対応について	13

(注)○印の内容は掲載していません。

一般質問って?

議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



学校給食費の無償化は 5年度以降、第3子以降の検討

とみなが つとむ
富永 勉

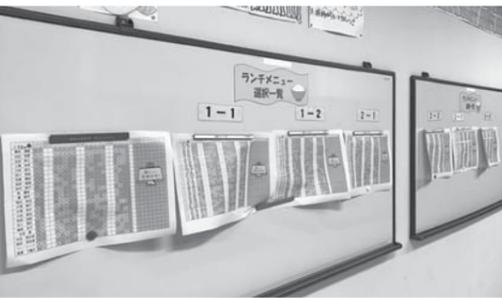
豊郷町では平成30年度から実施されている。甲良町では新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し4年度末まで無償化し、5年度以降も検討されている。近隣の町では子育て世帯への支援に力を入れている。現在のコロナ禍、物価高騰から抜け出せない中、検討が必要と考える。

問 ① 学校給食の無償化の考えは
② 就学前施設の副食費の無償化の考えは

答 ① 現在、毎月の給食費として小学校4000円、中学校4500円

を負担いただいている。これは学校給食法において、給食に必要な施設整備費、修繕費、人件費以外の費用は保護者負担とされていることから保護者にお願している。

② 元年10月に実施された幼児教育・保育の無償化にあたり、本町では、国の示した副食費の保護者負担の考え方を維持することとし、長時部4500円、短時部4000円の保護者負担をお願いしている。長引く物価高騰に対する給食費・副食費の対応として、今後国の補正予算の動向や社会情勢を見ながら、住民生活に大きく影響が出ると判断した場合において保



護者の負担軽減ができれば検討したい。なお、多賀町の独自施策として5年度以降の子育て支援策を充実させるべく多子世帯・少子化対策として、第3子以降の給食費・副食費について無償化できないか検討を進めている。

子育て支援のさらなる拡充は 給食費5年度以降、第3子以降無償化を検討



やまぐち ひさお
山口 久男

物価高騰による国民の生活への負担が深刻となっている。その中で、政府は国民に医療や介護の負担増を押し付けている。このような状況の中で、町の少子化対策、子育て支援推進のため、次の2点について伺う。

問 ① 学校給食は、教育の一環である。そこで、国に対して給食費の保護者負担をなくすことを求めるとともに、町としても給食費の無料化を含め、保護者負担の軽減をすることを考える

② 子ども医療費助成（無料化）について、高校生まで拡充する考えは

答 ① 学校給食法において、実施に必要な施設整備費、修繕費、人件費以外の給食費は保護者負担とされている。本町では、毎月の給食費として、小学校4000円、中学

校4500円を保護者に負担いただき、給食を支える貴重な財源となっている。

今年度は、物価高騰等、経済情勢が厳しい中、食料高騰分を補正予算で対応した。今後示される国の補正予算の動向や社会情勢を見ながら、負担軽減ができないか検討していく。

また、5年度以降の子育て支援として、多子世帯、具体的には第3子以降の給食費・副食費の無償化ができないか検討している。

副町長 ② 高校生までの医療費拡充は、政府全体の取り組みべき制度であり、全国町村会において強く要望している。今後も、子育てしやすい環境を作っていくために幅広い施策に取り組んでいく。

文化・芸術活動への支援制度の確立は 地域・民間と連携し、官民一体で取り組む



こんどう いさむ
近藤 勇

地域・民間の方々が、文化・芸術の普及に取り組まれています。その一つとして、過日「クラウン」という欧米の伝統的な笑い、系統的な表現で、楽しく、喜ばれる、記憶に残る作品を届けていただけの方たちとお話ししました。他にも「能楽」「マリンバの演奏」など、さまざまな取り組みもされているようです。

本町では、生涯学習課が主となり、多賀結いの森で、さまざまな講座を開催しておりますが、地域・民間で取り組まれている活動も地域の活性化に繋がるのではと強く感じ、次の点について伺う。

問 地域・民間で取り組まれる文化・芸術活動への支援制度の確立について

生涯学習課長 ① 町内で開催されている催しなど、文化・芸術活動が、地域での広がりとして見られるようになってきた。地域の皆さまの多種多様な発想は行政にはなく、今後、地域・民間における様々な活動やネットワークにアンテナを張り、行政が地域の皆さまとともに多賀町の文化・芸術を盛り上げていくことで、活力ある心豊かなまちづくりが実現するものと考えています。

このような地域・民間で取り組まれている活動については、まず活動されている団体等を把握し、情報収集に努め、関連する審議会や委員会の意見をいただきながら協力や支援を検討していきたい。なお、これら活動の相談窓口は、生涯学習課であり、相談の都度、主催・共催・後援等の判断をしていくこととしている。



学校施設・設備整備の現状は 年次目標として適切に対応したい

おはし とみぞう
大橋 富造

教育総務課長

文科省が7年度末までの実施を目標としている公立小・中学校などの施設のバリアフリー化を推進するために主たる目標が出されているが、町内の学校施設・設備整備の現状と対策を問う。

答 ① 3校とも設置済。② 門から建物まで、昇降口から教室までにおいて多賀小学校は整備済、大滝小・中学校では校舎と校舎のつなぎ部分において一部段差が残っている箇所がある。

総務課長 ⑤ 防災に関する設備改修は、避難所としての機能を有してはおりませんが、現在は、防災機能の強化ではなく、学校機能の充実を主眼に整備を進めています。

問 ① 車いす使用者用のトイレ整備状況は
② スロープなどによる段差解消は
③ エレベーターの設置
④ バリアフリー化は
⑤ 避難所指定の整備の状況は
⑥ 物的な防災機能の進捗はどうか

① トイレ整備状況は、これは以前、肢体不自由の児童が在籍され、校内の円滑な移動を配慮して整備されていた。

② 多賀小学校のみ設置されているが、これは以前、肢体不自由の児童が在籍され、校内の円滑な移動を配慮して整備されていた。

③ 多賀小学校を含め、スロープの傾斜は適当か、エレベーターの必要性などを検討し目標年次として適切に対応したい。

④ 学校内の詳細な調査を実施するとともに、多賀小学校を含め、スロープの傾斜は適当か、エレベーターの必要性などを検討し目標年次として適切に対応したい。

⑤ 防災に関する設備改修は、避難所としての機能を有してはおりませんが、現在は、防災機能の強化ではなく、学校機能の充実を主眼に整備を進めています。

⑥ 毎年度、備蓄の更新をおこない、かねてよりご指摘のあったアルファ米や生理用品、液体ミルクについても備蓄を進めています。また3年度には、ハザードマップを更新し、全戸配布をおこないました。



多賀中渡り廊下



関ヶ原踏破隊歓迎の問題点は 総括対応は生涯学習課で対応

木下 茂樹

関ヶ原戦跡踏破隊の訪問は昭和35年に始まり、4年で63次である。

これが縁で、昭和59年に鹿児島県伊集院町（現日置市）と兄弟都市盟約が締結され交流が始まった。

8月に関ヶ原戦跡踏破隊が通過する脇ヶ畑保月地区は、旧住民が帰省し接待して頂いた長年の交流が基礎となっている。

4年から岐阜県時山地からの徒歩は止め、レンタカーでの通行に変更と伺ったが、その後、急きょ脇ヶ畑保月地区は通らなくなるルートに変更となった。

原因は、林道への樹木の枝葉、道路上の破砕石



① 関ヶ原戦跡踏破隊総括担当課は
② 宿泊場所の変更は
③ マイクロバスの利用助成は
④ 子ども間の交流は
⑤ 保月地区への助成は

生涯学習課長
① 地域整備課、産業環境課と情報共有し、課を越えた連携で生涯学習課が対応している。
② 4年度は多賀結いの森で木の香り、きれいな和室でゆっくり過ごして頂き、今後も提案していく。
③ 必要があれば対応を検討する。
④ 日置市との交流事業は別であり、関ヶ原戦跡踏破隊の到着時歓迎式典に出席を予定する。
⑤ 休憩所の受け入れご厚意に対し、謝礼をしている。

災害時の避難対応は 各地域での取り組みを優先しながら



清水 登久子

例年、災害時に備えて避難訓練がされていますが、コロナ禍の影響により訓練もままならない状態が続いています。もしもの時に備えた対応について問う。

① 誰にでもわかる誘導看板の設置の計画は
② 避難所への女性職員の配置は
③ 多賀中学校が避難場所に指定されていますが山の上であり代替の避難所を設ける計画は
④ 防災意識の啓発活動は
⑤ ライフラインが遮断された時のトイレ問題は

総務課長

① 新たな看板の設置予定はない。全戸に配布のハザードマップにて常日頃より確認をいただいで、各集落の皆様が最も適した避難経路を自らでお決めいただき、それに基づき避難をしていた

だく事が必要。
② 各避難所には一人以上配置をしています。
③ 新たな避難所設置は難しいと考える。
高齢の方や障がいをお持ちの方など、坂道を上ることが困難な方もおられると思います。隣近所で助け合っていたり、多賀小学校を使っていたりなど、使い分けは可能。
④ 地域での取り組みが重要であり、引き続き区長様と連絡を密に啓発活動に努めたい。
⑤ 簡易トイレセットを一万セット確保。これだけでは十分ではなく追加備蓄と共に自作の仮設トイレを設置するのも可能だと思えます。今後、区長会などでトイレの対策を考えてもらえるようお願いする。

町の財政状況は 将来世代への負担軽減を図り健全財政を



川添 武史

平成27年度から、全国各自治体は「統一的な基準」に基づき財政書類を作成することになった。「基準モデル」から「統一モデル」に変更されたことから、他自治体との比較が安易にできることとなった。過日、税理士法人から財務指標分析結果の説明を受けたところ、本町の財政状況はおおむね健全財政であることを確認した。

① 資産の状況および今後の活用は

副町長

② 本町においても企業会計を除いた一般会計や特別会計において「現金主義」による単式簿記に加えて、「発生主義」による複式簿記による帳簿を作成し、土地やインフラ資産等を含めた財務指標分析をおこなっている。2年度における一般会計の分析結果では、資産形成においては、地方債高の削減、「適正な資産の形成と更新」「税収入などの歳入の確保」「補助金・負担金などの見直し」に取り組み、健全財政を堅持していきたい。

第63回町議会議員研修会 11/2

日野町わたむきホールで開催された。「10年後の彼と地域を見つめた就労支援」未来への下ごしらえ」と題して、「野々村 光子」氏の講演を受けた。

講師のプロフィール

【所属】 社会福祉法人わたむきの里福祉会、東近江圏域 働き・暮らしの応援センター「teki too」

【役職】 センター長 兼 支援ワーカー

【経歴】 ①幼い頃から母親の始めた田舎の作業所の仲間が自宅に出入りすると言う環境で育つ。
②大学卒業後、精神障害者通所授産施設での支援活動を経て、精神保健福祉士を取得。

③京都障害者職業相談室にて精神障害者就労支援に関わり6年間勤務。

④平成18年より現在のセンター業務に就く。
⑤色んな「働きたい」が実現する地域を目指し、「人・モノ・金・愛」が廻る仕組みを発信中。
この「野々村 光子」氏の講演が素晴らしかった。1時間余りの講演ではあったが、議員の前で話すのは初めてと言いつつ参加者をグイグイと引っ張り込んでいく、話術の素晴らしさ、ユーモアを交えながら「障害者就労支援」の今までの経緯を話す。
・生活が苦しいねんVS働きたいねん。
・遠慮はいらん。配慮をください。
・就職を目標にしない。かつこええ大人をめざす。
・本人を知るコト、「働くコトを切り取らない応援とは」。

地球を救う担い手はここにいます。
・働く力は、生きる力や、働く事に憧れる時間と所属の保証・・・。
・勝手にやってみよう、許してくれる大人を増やす。
・寝ているもんも使う 図々しさ。
話の見出しだけを見ても面白い。
資金集めに社長を集めて会食を行い。全て同じメニューで、3千円〜1万円までランク分けし会費を徴収。「野々村 光子被害者の会」と言われるが、そういう社長がこんな人材はいないか？と相談して来る。誰が適任か瞬時に浮かぶ身障者の適性までも把握。この様な人材が当町にもいれば、色々な分野で変わるのではないかと考えさせられた。この講師を当町にもお招きして、多くの方に聞いていただきたいと思った。

山間地域の活性化

地域おこし協力の活動紹介 No.3

地域商社

大滝や多賀の特産物、大瀧神社・犬上神社のお守りや絵馬を販売する「地域商社」という事業を進めています。9月には東京武蔵野美術大学に通う学生4名が、地域商社で販売する商品を考えるために、十日間大滝に住みながらフィールドワークをしました。

普段都会で暮らしている彼女たちにとって、多賀町での生活は非日常的



武蔵野美術大学生

自然に触れる

だったようで、「毎日五感を使って自然を楽しめることに感動した」と話していました。

学生さんたちは、大瀧神社に祀られている忠犬「小石丸」のかわいいロゴや、大瀧神社・犬上神社のお守りなどを提案してくれました。今後も商品開発に向けて、学生さんと協力していきます。

旧営林署の改修



厨房改修工事

現在、お弁当づくりやNPO法人の事務所として使っている旧営林署の

建物を、今後カフェやレストランとして活用することを計画しています。

11月には、県立大生と一緒にテラスを完成させました。さらに庇（ひさし）を設けて、外でもお茶ができるようにしていく予定です。



テラス床張

また内装も畳からフローリングにすることになっていくほか、2月には屋根の葺き替え工事をおこなう予定です。来年度にはサロンができる空間を整えていきますので、見守ってください。

新しい仲間

11月から、岩下晃士さんが地域おこし協力隊に就任しました。長年飲食店で働いた経験を活かし、お弁当づくりを中心に、改修工事や草刈りなどの力仕事、移送サービスの事業化推進などを担当しています。

お弁当販売時に、ときどき岩下さんお手製のお菓子も販売していきます。みなさんの中にも手作りのものを販売したい方がいらっしゃいましたら、ぜひご相談ください。



新しい仲間(右側)の姿

地域協力隊 朝比奈 遙

議会を傍聴してみませんか？

議員や行政は、どんなまちづくりを考えているのか、直接、見て、聞くことができます。ぜひお越しください。

3月定例会の予定

3月 3日(金) 9:30～ 定例会開会

・町長が町政報告と議案提案を行う。

3月 7日(火) 9:30～ 一般質問

3月 8日(水) 9:30～ 一般質問

・議員が町政について質問します。

3月24日(金) 13:30～ 定例会閉会

・初日に提案された議案を採決します。

※日程は、変更になる場合があります。



※座席は21席あります。(コロナ対策で制限する場合があります)

編集後記

師走に入り昨年の豪雪が頭をよぎる。今年度も最後の広報誌となった。紙面の形式重視か、いろんな思いが交錯するなか読者に読みやすくわかりやすく、コロナ対応と同様、悪戦苦闘である。12月議会は多賀町議

員の定年延長、物価高騰、コロナ対策(仮称)結いの森公園整備工事などで、予算編成を迎え、新年度予算はどのような予算になるのだろうか。校正を終え読者の思いは人それぞれ、どのように感じておられるのだろうか。菅森 照雄 記

発行 / 多賀町議会
編集 / 議会広報常任委員会

F 522-0341 滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324
☎ 0749(48) 8126 FAX 0749(48) 8131
有線 2-2011

ホームページ <https://www.town.taga.lg.jp/>